

1 地域生活支援拠点等事業の評価・検証について

○作業依頼

送付した資料の【令和4年度の実施内容】と【総括表及びチェックリスト】の内容を確認し、総括表にある各項目の「協議会等の会議体に参加している者による評価(協議会等による評価)」の部分について、プルダウンで選択し、充足度を評価して下さい。なお、充足度の判断について、客観的な基準はありませんので、各委員の個人の判断で選択をお願いします。

そのほか、「現状・課題に係る評価」「今後の対応等」については拠点事業について気になる部分や今後期待する部分について自由記述で回答をお願いします。

自由記述の部分については、意見が無い場合、無記入でも構いませんが、充足度については必ず選択して下さい。

提出方法

原則メールにて提出をお願いします。宛先は福井市障がい福祉課牧野までお願いします。

(メールでの提出が難しい場合は、FAX、郵送でも可)

福井市障がい福祉課公用メール: sfukusi@city.fukui.lg.jp

課内共用アドレスですので、メールの件名は下記のとおりとさせていただきますようご協力をお願いします。

メール件名:地域生活支援拠点等事業の評価・検証について

回答期限

令和5年2月28日(火)

結果の公表

回答が出揃い次第、集計を行い、総括表の「充足度」は各委員のからの意見で一番多い選択肢を、「現状・課題に係る評価」「今後の対応等」については自由記述の意見を掲載します。

総括表を完成次第、委員の方にメール(もしくは郵送)にてお知らせします。

2 次年度の協議の方向性について

○協議事項

(1)相談

新規登録事業所の理解促進や協働体制が取れない事業所のケース検討を目的に定期的に研修を開催(年2回程度)

(2)緊急時の受け入れ・対応

事業所間の横の繋がりが希薄であり、情報共有がしづらいため、交流会や相談事業所との合同研修を検討する。

(3)専門的人材の確保・養成

・協議会で協議されている地域課題に対応した研修の開催(強度行動障がいなど)

・主に若手職員を対象とした分野横断的な研修の開催

(交流の機会が増えることで、横の繋がりを強化できる。また、見識が広がりスキルアップに繋がる。そのほか、人材交流することで刺激を受け、若手職員の仕事へのモチベーションが向上し、長期的な視点での人材の確保に繋がる。)

「体験の機会・場の提供」については各機能の状況を踏まえながら、協議に着手する。

協議形態

原則はコアメンバーでの協議とし、必要に応じてチームで協議を行う。